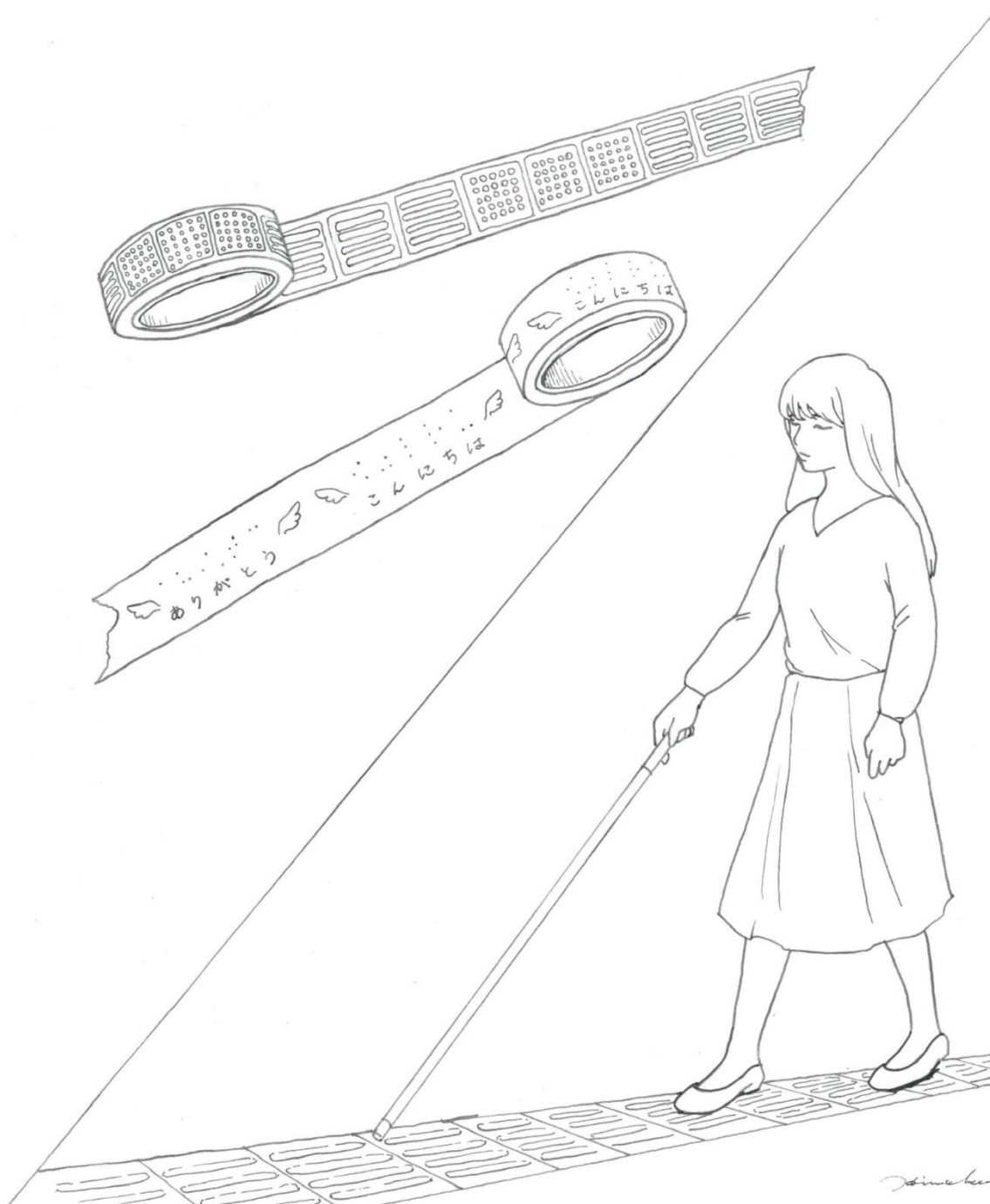


ひと  
人をつなぐマスキングテープ



(Drawn by Hinako FUJIMURA)

マスキングテープを知っていますか。マスキングテープは、セロハンテープのようにクルクル巻いてあるテープで、何回も貼ったりはがしたりできます。いろいろなデザインのテープがあるので、手帳やノートに貼って、内容を目立たせたり、かわいく飾ったりできます。文房具店に行くといろいろなマスキングテープが売られていますが、ここで私は2つの特別なマスキングテープを紹介します。

1つは、「点字ブロック」のマスキングテープで、もう1つは、「点字」で「ありがとう」と書いてあるマスキングテープです。

点字ブロックというのは、駅や道路に敷いてある黄色いブロックで、デコボコが付いています。目が見えない人は、杖で点字ブロックを確認しながら歩きます。

点字は、目が見えない人のための文字です。触ってわかるように、字がデコボコしています。

さて、どうして点字ブロックや点字のマスキングテープがあるのでしょうか。目が見えない人が使うのでしょうか。

これを作ったのは、亥埜 理絵（いの りえ）さんです。亥埜さんには、目が見えない娘さんがいます。娘さんが大きくなって外を歩くことが増えると、亥埜さんは点字ブロックの大切さがよくわかるようになりました。

目が見えない人は、点字ブロックと杖を使って歩きます。だから、町の中の点字ブロックの上に自転車や荷物が置いてあったら、目が見えない人は通れま

せん。それだけではなくて、<sup>てんじ</sup>点字ブロックの<sup>うえ</sup>上の<sup>じてんしゃ</sup>自転車を<sup>たお</sup>倒して、そばにいる  
<sup>ちい</sup>小さい<sup>こ</sup>子どもやお<sup>としよ</sup>年寄りにけがをさせてしまうかもしれません。<sup>てんじ</sup>点字ブロック  
の<sup>うえ</sup>上に<sup>もの</sup>物を<sup>お</sup>置くことは、<sup>め</sup>目が見えない<sup>ひと</sup>人にも、そばにいる<sup>ひと</sup>人にも、<sup>きけん</sup>危険なこと  
なのです。

「<sup>てんじ</sup>点字ブロックの<sup>うえ</sup>上に<sup>もの</sup>物を<sup>お</sup>置かないでください」と言うことはできます。で  
も、それでは<sup>め</sup>目が見えない<sup>ひと</sup>人が<sup>みな</sup>みんなに<sup>ねが</sup>お願いしているような<sup>きもち</sup>気持ちになって  
しまいます。そうではなくて、<sup>おほ</sup>多くの<sup>ひと</sup>人にもっと<sup>しぜん</sup>自然に<sup>てんじ</sup>点字ブロックや<sup>め</sup>目が見  
えない<sup>ひと</sup>人のことを<sup>し</sup>知ってほしいと、<sup>い</sup>亥埜さんは<sup>おも</sup>思いました。そして<sup>かんが</sup>考えたの  
が、<sup>マスキングテープ</sup>マスキングテープだったのです。

かわいいデザインの<sup>マスキングテープ</sup>マスキングテープだったら、<sup>いろ</sup>いろいろな<sup>ひと</sup>人が<sup>きょうみ</sup>興味を持  
ちます。そして、<sup>マスキングテープ</sup>マスキングテープを<sup>つか</sup>使ったり<sup>み</sup>見たりした<sup>ひと</sup>人が、<sup>てんじ</sup>点字ブロック  
や<sup>め</sup>目が見えない<sup>ひと</sup>人のことを<sup>し</sup>知りた<sup>おも</sup>いと思う<sup>お</sup>かもしれませ<sup>ん</sup>。そうやって、<sup>てんじ</sup>点字  
ブロックや<sup>め</sup>目が見えない<sup>ひと</sup>人のことを<sup>し</sup>知る<sup>ひと</sup>人が<sup>ふ</sup>増えれば<sup>い</sup>いいなと、<sup>い</sup>亥埜さんは<sup>おも</sup>思  
っています。

テープはもともと、<sup>なに</sup>何かと<sup>なに</sup>何かをくっつけて、<sup>つな</sup>つなぐための<sup>もの</sup>ものです。この  
2つの<sup>マスキングテープ</sup>マスキングテープが、<sup>め</sup>目が見えない<sup>ひと</sup>人と<sup>わたし</sup>私たちをつないでくれるのか  
もしれません。

(1052<sup>↑</sup>字)

(2020.10 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- <https://tsubasanokaikanaga.wixsite.com/tsubasanokai/original-goods>
- <https://soar-world.com/2018/03/07/tenjimaskingtape/>
- <https://curazy.com/archives/240158>
- <https://spot-lite.jp/tubasanokai/>

(2020.10.5 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

When you use this work, please indicate the source as in the example above.